

1.1 大学の学習・研究と情報

1.1.1 大学図書館の役割

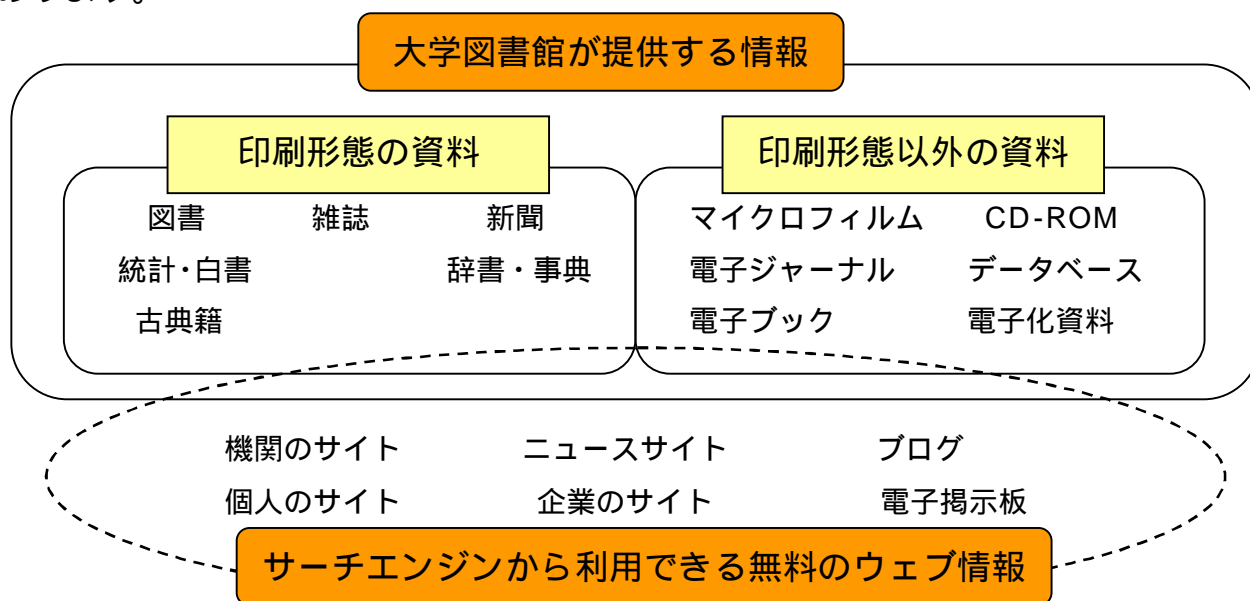
大学生としてあるいは研究者として、学習・研究に必要な情報を得るために大学図書館は欠かせない存在です。大学図書館は、研究者によって生産された研究成果（論文・図書など）や、行政機関の公式資料など、学術的情報を中心とした資料を収集・保存し、それらを広く利用者に提供するという役割をもっています。

また、各分野の膨大な学術的情報を効率的に探索するためには、それらのタイトルや著者、概要などを収録したデータベースや資料目録といったツールが作成されています。図書館は、これらの情報探索ツールも可能な限り収集し、利用者に提供する役割を果たしています。

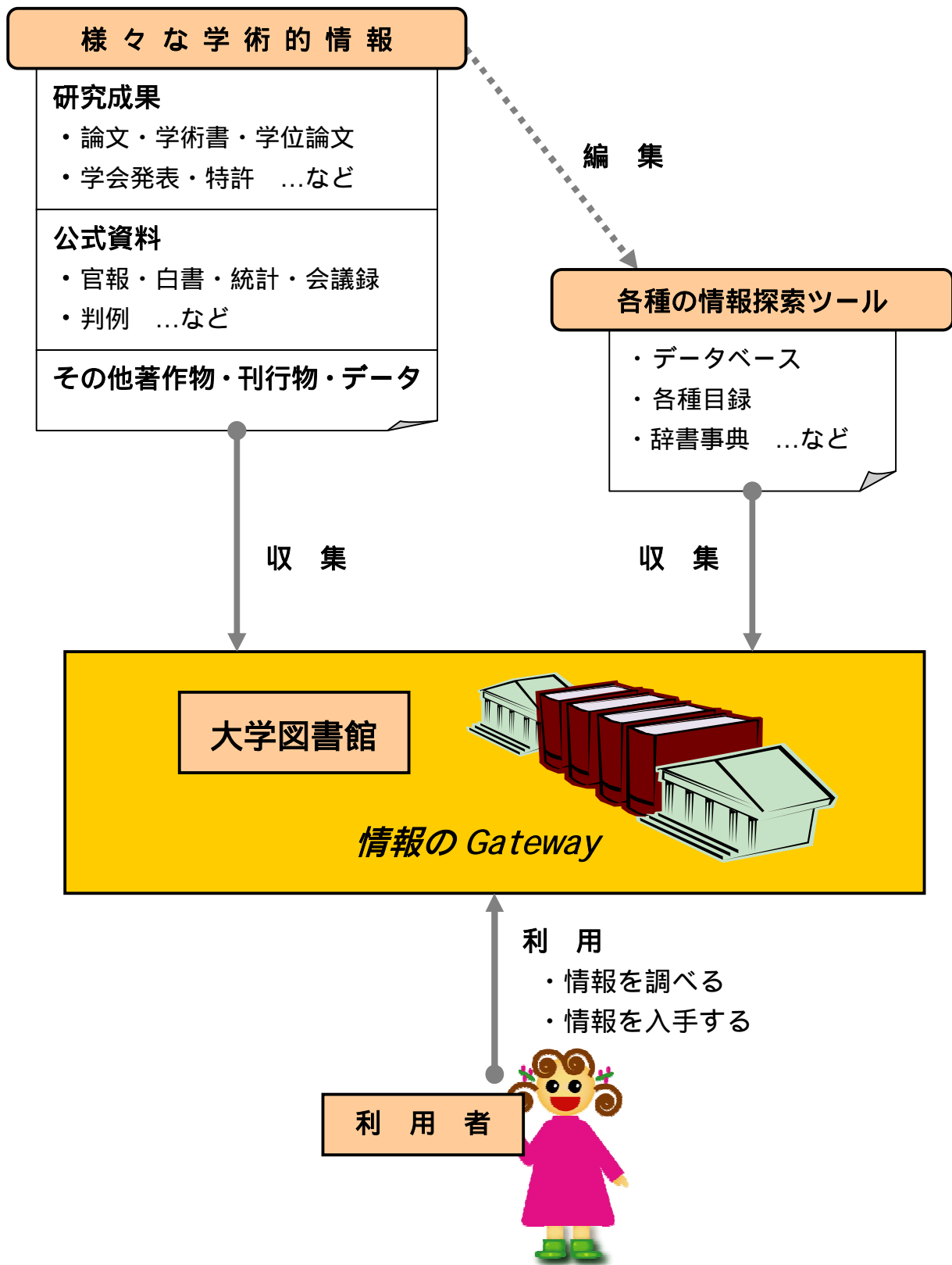
図書館は、様々な学術的情報と情報探索ツールとを備え、皆さんを求める情報へと橋渡しする「ゲートウェイ」となっているのです。図表1-2 参照

1.1.2 大学図書館の資料

大学図書館が提供する資料には、印刷形態のものとそれ以外の形態のものがあります。印刷形態の資料としては、図書（単行書）や雑誌、新聞、統計・白書類、辞書・事典類などがあります。また印刷形態以外のものとしては、マイクロフィルムやCD-ROM、インターネットで利用できるデータベース（1.2.4(6)参照）や電子ジャーナル（4.4参照）などのように電子形態でウェブからの利用が可能なものがあります。



図表 1-1 情報資源の全体像



図表 1-2 大学図書館の役割

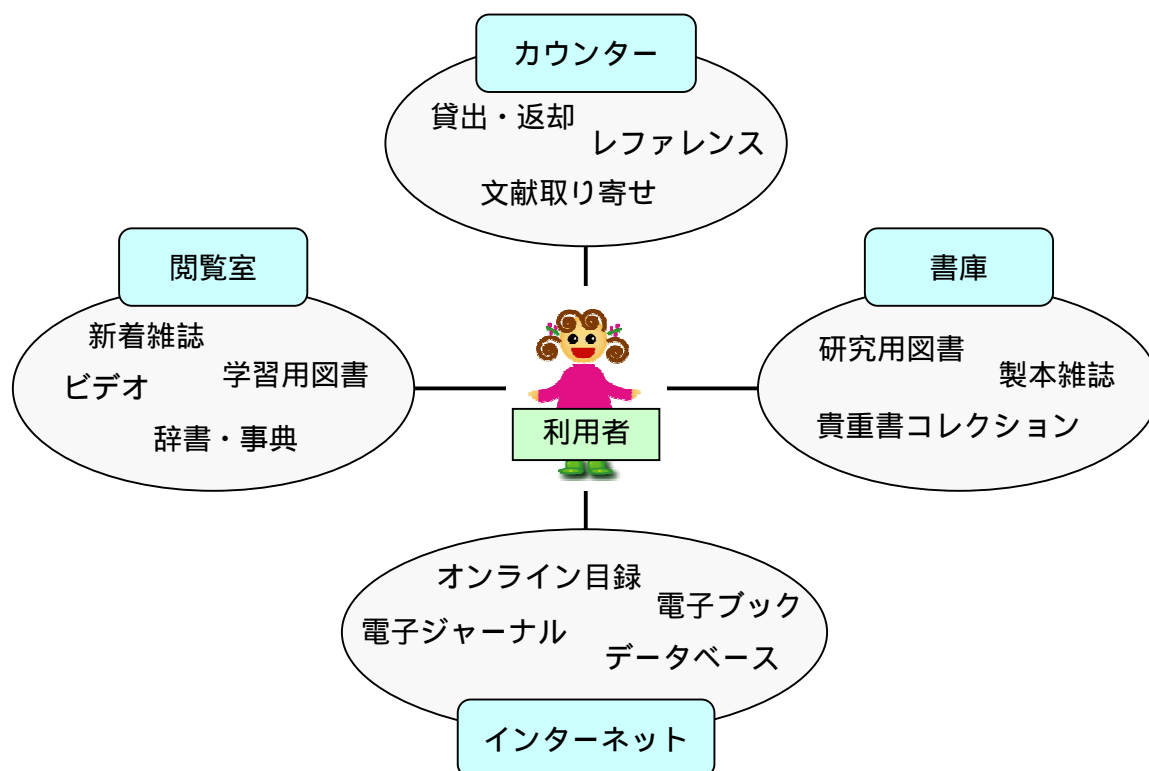
1.1.3 大学図書館の設備とサービス

大学図書館では、学生が自由に利用できるよう、学習室や閲覧室などのスペースに多くの閲覧機を用意しています。閲覧室には、主に学習用資料がそろえられており、新着雑誌を展示するための雑誌コーナーなどがあります。ほとんどの大学では、研究用資料は閲覧室ではなく、何十万冊も収容できる別の書庫に置かれています。製本された古い雑誌や貴重なコレクションなども書庫に保存されます。

また、利用者が各種サービスを受けられるよう、資料の貸出・返却のためのカウンター、情報収集の支援を行うレファレンス・デスク、他大学などから文献複写を取り寄せるための申込カウンター、所蔵資料の一部を複写するための複写機などがあります。

さらに、利用者が自分で所蔵資料の検索をするために、目録というものが用意されています。従来はカード目録でしたが、近年は利用者用のパソコンで検索できるオンライン目録が主流です。これに加えて、電子ジャーナルやデータベースを利用するためのパソコンを用意する図書館も増えてきました。

最近では、より便利に利用できるように、多くの大学図書館にて夜間開館や休日開館を行っています。また、来館しなくとも所蔵資料の検索や予約ができるよう、ウェブサービスの充実を進めつつあります。



図表 1-3 大学図書館の設備モデル

1.1.4 インターネットと情報

今やインターネットは情報発信手段のひとつとして欠かせない存在となっています。ネット上には膨大な数のウェブサイトがあり、多種多様な情報が提供されていて、学習・研究の上で必要となる学術的な情報も得ることができます。また、これまで冊子体で利用してきた辞典類等の電子化が進み、ネットワーク経由で利用することが一般的になりつつあります。

しかし、ネット上では誰もが簡単に情報発信できるため、信頼性に欠けるデータや情報が提供されていたり、ウェブサイトの安定性がないため、ウェブサイト自体が消滅し情報源そのものがなくなるということがあります。また、インターネットからは利用できない資料も数多くあることを忘れてはいけません。

インターネット上の情報を利用する場合は、発信者が明確で信頼性のあるウェブサイトを利用し、かつインターネット以外の情報源も併用する必要があります。

上記のようなインターネット情報の位置付けを念頭に置き、大学生としてふさわしい情報探索の知識と技術を身につけてください。



まめちしき インターネット利用のマナー

図書館の資料や設備は皆さんが共同で使うものなので、常識をわきまえて利用する必要があります。ウェブサービスや電子メールを利用する際も、同じようなマナーがあり、決して行ってはならないことがあります。具体的には、電子ジャーナルの論文を大量にダウンロードしたりする「著作権」を侵害する行為、公開された掲示板などで他者を誹謗・中傷する行為などがそれにあたります。

東北大学からそのような行為がなされた場合、電子ジャーナルの供給が停止されるなど、大学全体の学習・研究活動に多大な影響を及ぼすことになります。決してそのような行為をすることのないよう、マナーを遵守してください。

一般的なマナーに関しては次のウェブサイトで紹介していますので、参考にしてください。

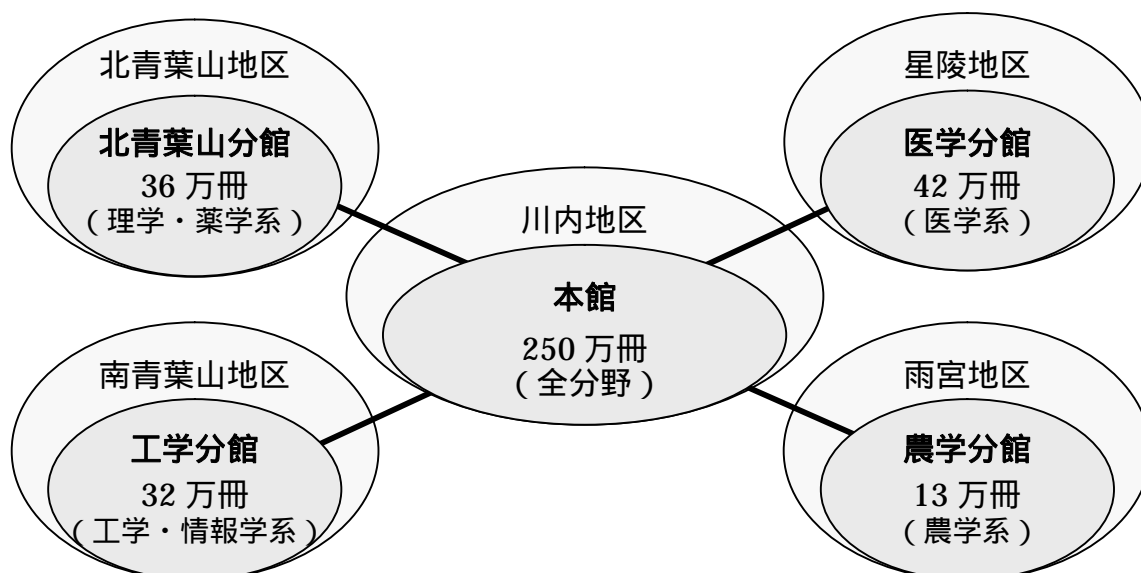
- 『インターネットを利用する方のためのルール&マナー集』
財団法人インターネット協会
<<http://www.iajapan.org/rule/rule4general/main.html>>

1.2 東北大学附属図書館の概要と特色

1.2.1 図書館の構成と提供資料

東北大学附属図書館は、東北帝国大学創立4年後の明治44年(1911)に創設されました。創設当初、中央館(本館)だけであった図書館は、その後、学部やキャンパスの増加に伴って4つの分館が設置され、現在は下表の5図書館で連携したサービスを行っています。

本館は、全分野に関する学習用資料を所蔵するとともに、川内地区の人文・社会科学系研究者のための研究用資料を所蔵しています。その他の4分館は、それぞれの地区の専門分野に即した研究用資料を所蔵しています。



図表 1-4 東北大学の附属図書館

また、附属図書館のほかに、片平地区の研究所や各地区の研究科・学部には図書室が設置されており、それぞれ専門的な研究用資料を提供しています。

東北大学は大規模な総合大学であることから、学問分野全般にわたる資料を所蔵しています。所蔵冊数の合計は約370万冊となり、国内有数の大規模図書館となっています。

所蔵する資料のほか、文献探索のためのデータベースや電子ジャーナルの整備と提供を進めています。これらは、東北大学内でのみ利用できるよう契約して導入した有料の情報資源であり、学外からは基本的に利用できないようになっています。

東北大学の学生・研究者は、以上の図書館すべてを利用することができます。それぞれの図書館により利用時間や利用規則・貸出条件が異なりますので、利用の際に確認してください。また、研究科等に附属した図書室の利用可否については、事前に各図書室にお問い合わせください。付録6参照

- 『総合案内』 東北大学附属図書館
<<http://www.library.tohoku.ac.jp/guide/guide.html>>
各図書館室の利用案内へのリンクです。

1.2.2 図書館コレクション

東北大学附属図書館は、通常の学習・研究用資料のほか、非常に貴重で全国的にも有名な資料群（コレクション）を所蔵しています。「類聚國史 卷第二十五」「史記 孝文本紀 第十」という2点の資料は、国宝に指定されています。また、夏目漱石の旧蔵書・自筆資料などからなる漱石文庫、約10万点の古典籍からなり「江戸学の宝庫」と呼ばれる狩野文庫、約1万8千点からなる日本随一の和算関係資料なども著名なコレクションです（いずれも本館所蔵）。



図表1-5 「漱石先生」岡本一平画 水彩 一幅（漱石文庫所蔵）

- 『コレクション』 東北大学附属図書館
<<http://www.library.tohoku.ac.jp/collect/collect.html>>
東北大学附属図書館で所蔵している著名コレクションの紹介ページ。
コレクション中の一部資料の画像閲覧や資料検索ができます。

1.2.3 図書館のサービス概要

(1) 資料の貸出・閲覧

図書館内の所蔵資料は、閲覧および館外貸出が可能です。また、貸出中資料の予約や、他キャンパス図書館で所蔵している図書の取り寄せも行っています。ただし、蔵書の中には研究室に置かれている資料もあります。それらの利用については、研究者の了解が必要となりますので、図書館カウンターに申請してください。

(2) 資料の検索

目的とする図書や雑誌がどこにあるのか、どのような図書があるのかを調べるには、図書館の目録を利用します。東北大学では、オンライン目録を用意していますので、まずは図書館にあるパソコンで検索してみてください。古い時代の資料については、カード目録も調べる必要があります。3章参照

雑誌論文や新聞記事を調べるためには、データベースを使います。データベースを検索することで、自分の必要としている事柄についてどんな論文・記事があるか、またそれらがどの雑誌や新聞に掲載されているかを調べることができ、その論文や記事を手に入れることができるようになります。4章・5章参照

(3) 情報収集の支援（レファレンス）

どのような文献があるか、ある事柄について何を調べたらよいのかなどについての支援を得るには、図書館員のいるカウンターに気軽に問い合わせてください。『MyLibrary』からオンラインで質問することもできます(1.2.4まめちしき参照)。

(4) 他の図書館からの資料入手（相互利用サービス）

いつも利用している図書館で求める資料が入手できない場合、その図書館を通じて他の大学図書館などから文献の複写を入手したり、資料そのものの貸出を受けたりすることができます。このサービスの利用には、複写料金や郵送料などがかかります。付録7参照

(5) 利用説明会・講習会

図書館の利用方法や、オンライン目録・データベースの使用方法を習得するための、説明会や講習会を開催しています。日時などの開催内容については、本館・分館の掲示板や下記のウェブサイトで通知しています。

- 『図書館講習会スケジュール』 東北大学附属図書館

<<http://www.library.tohoku.ac.jp/info/guidance.html>>

(1) オンライン目録

東北大学で所蔵している資料のオンライン目録は、『Online Catalog』と呼びます。『Online Catalog』には「基本検索」と「詳細検索」があり、学内蔵書だけでなく、学外（日本国内の大学図書館）の蔵書を含めて検索できます。3章参照

また、漱石文庫や狩野文庫、和算資料などの各種コレクションごとのオンライン目録もあり、『学術情報ポータル』で検索することができます。その資料の一部は電子化されており、ウェブで画像を見ることができます。

(2) TOUR

東北大学機関リポジトリ 『TOUR』(T0hoku University Repository) は、本学の学術研究成果及び教育成果を収集・保存し、学内外に無償で公開するシステムです。6.2(4)まめちしき参照

(3) リンク集

学習や研究上有益なウェブサイトを集めて、分野ごとに整理したリンク集を公開しています。

(4) オンラインサービス『MyLibrary』(学内利用者限定)

『MyLibrary』は、インターネットを通じて利用できる資料・検索ツール・図書館サービスを、自分の使いやすいように整理しておける、個人専用のウェブ上の図書館です。『MyLibrary』へは全学電子認証システムと同じ ID・パスワードでログインします。また、携帯電話からも『MyLibrary』の一部のサービスが利用できます。まめちしき参照

(5) 電子ジャーナル(学内限定)

東北大学と出版社との契約で、ウェブで利用できるようになっている雑誌が電子ジャーナルです。学内であれば誰でもどこからでも利用できるようになっていますが、利用のルールに十分留意して利用する必要があります。4.4参照

(6) データベース(学内限定)

どのような文献があるのか、それがどの雑誌に掲載されているかなどを調べる時に使います。東北大学では、日本語文献を調べるためのデータベースは無論のこと、外国語文献を調べるためのデータベースを何種類も用意しています。また、新聞記事や百科事典などのデータベースもあります。4章・5章・7章参照

(7) 図書館利用案内

開館日・開館時間、利用方法、館内案内、利用案内 FAQ (よくある質問と回答) など、図書館を利用する上での基本的な情報や、所蔵資料の内容説明をしています。

The screenshot shows the MyLibrary website in a Microsoft Internet Explorer browser window. The page title is "みやぎの はぎこ さんのMyLibrary". The interface includes a navigation menu with options like "コンテンツの選択" (Choose Content) and "色をカスタマイズする" (Change Colors). Several callout boxes are overlaid on the page to describe key features:

- 図書館からのお知らせ (Information):** 図書館からのお知らせ
開館時間変更、新サービス案内、利用案内等が表示されます。
- 図書館サービス (Library Services):** 図書館サービス
蔵書検索や貸出・文献複写申込みの状況照会などができます。
まめちしき参照
- 図書館カレンダー (Library Calendar):** 図書館カレンダー
よく利用する図書館のカレンダーを表示できます。
- 図書館・学術情報リンク (Library Links):** 図書館・学術情報リンク
図書館お薦めリンク集。
- クイック検索 (Quick Searches):** クイック検索
Google、Yahoo!などの検索ができます。
- ホームページリンク集 (Bookmarks):** ホームページリンク集
自分の好きなホームページを登録できます。
- 電子ジャーナル (Electronic Journals):** 電子ジャーナル
よく使う電子ジャーナルだけを表示させることができます。

図表 1-7 東北大学附属図書館『MyLibrary』



まめちしき 『MyLibrary』の「図書館サービス」

『MyLibrary』の「図書館サービス」から次の機能を利用することができます。図表1-7参照

- 蔵書検索
『MyLibrary』の『蔵書検索(Online Catalog)』には、「検索結果をメールで送る機能」や「資料の予約・取寄せ機能」、「相互利用サービス(複写・借用)の申込機能」など、学内利用者のみが利用できる機能があります。より詳しくは3.2.1(5)まめちしきを参照してください。
- 貸出・予約状況照会
貸出・予約中の資料の確認と、貸出期間の延長ができます。
- 文献複写借用申込み
学内にない資料の複写/現物借用の申込みができます。詳しくは付録7を参照してください。
- 学生希望図書リクエスト
本館および各分館に購入希望図書をリクエストすることができます。
- レファレンス・サービス
事項調査・資料所蔵情報調査等をオンラインで申込みできます。調査内容は図書館からメールで回答します。